

静岡県部活動ミーティング 2019 報告

日 時：令和元年 12 月 12 日（木） 午後 1 時から 2 時 30 分

会 場：静岡市民文化会館 大会議室・第 2 会議室・第 4 会議室

主 催：静岡県教育委員会 静岡県高等学校体育連盟

参加校：韮山高等学校 伊豆中央高等学校 沼津東高等学校 吉原工業高等学校
富士高等学校 富士東高等学校 清水東高等学校 静岡高等学校
駿河総合高等学校 城南静岡高等学校 焼津中央高等学校 焼津水産高等学校
藤枝東高等学校 浜松商業高等学校

（第 20 回静岡県高等学校新体力テスト表彰式参加校代表者 全日制高校生 22 名）

プログラム：

- (1) 開会挨拶 静岡県教育委員会健康体育課長
- (2) 内容説明
- (3) ワークショップ 「部活動を考える ～魅力ある部活動とは～」
- (4) 成果発表 各班の発表
- (5) 閉会

○ワークショップ

今回は、大会議室で開会と全体説明を行い、その後、2 会場に分かれてのワークショップとなり、他の班を気にせず、自分たちの話し合いに集中しやすい環境が作ることができました。開会前は多少緊張した姿が見られましたが、各会場へ移動すると、それぞれの会場の担当職員の働きかけもあり、会場全体が和やかな雰囲気になり、ワークショップにスムーズに入ることができました。



開会の様子



アイスブレイク (1・2班)



内容説明 (3・4班)

自己紹介、内容説明を行った後、部活動の良い点・悪い点を付箋への書き込み、それをもとに話し合いながら、グルーピングをしていきました。挙げられた意見として、部活動の良い点は「体力・精神力の向上」「礼儀やマナーを身に付けられる」「一生の仲間ができる」などが多く挙げられ、悪い点は「勉強との両立が大変」「活動場所が充分でない」「金銭面の負担」などが挙げられました。



付箋への記入とグルーピング

記入した付箋のグループ分けをしました。グループ分けしたものに、表題を付け、それをもとに課題に対しての解決策や改善方法を話し合いました。また、それぞれの部活動に対する熱い想いを語るグループもあり、それぞれの班ごと特色あるワークショップが展開されました。



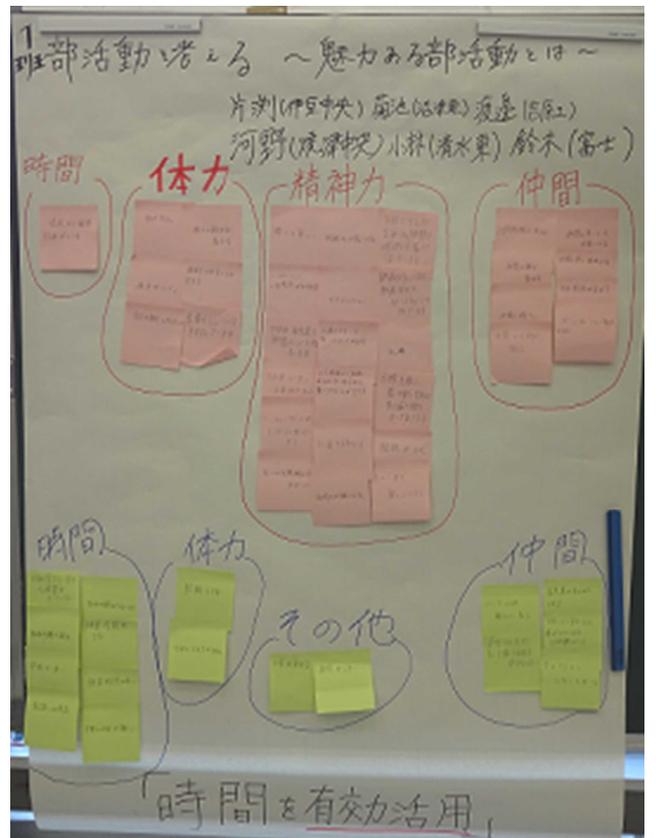
課題解決に向けての話し合い

○成果発表

全ての作業終了後、大会議室へ移動して、完成した模造紙を披露しながら、今回のミーティングの成果を発表しました。

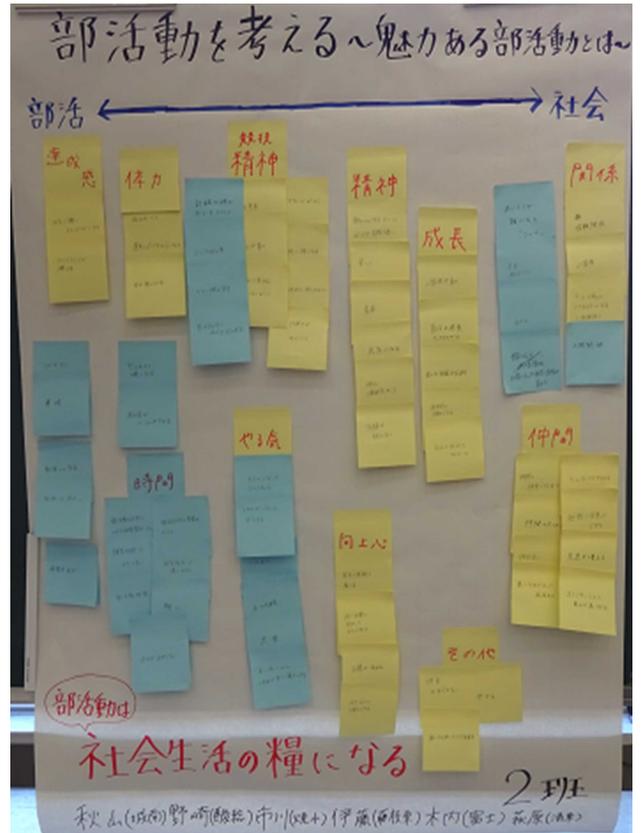
<1班> 「時間を有効活用」

部活動の大切さを実感しながらも、勉強との両立などの面から、もっと時間を大切に無駄な時間を減らすようにしていくべきだと感じました。



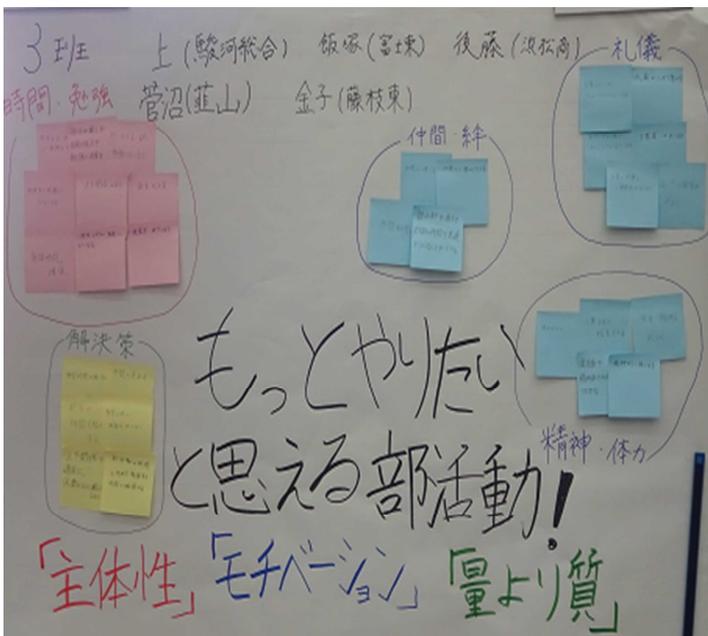
<2班> 部活動は社会生活の糧になる

色々な大変な面もあるが、それ以上に社会に出ても役立つことを学ぶことができるのが部活動の魅力だと思います。



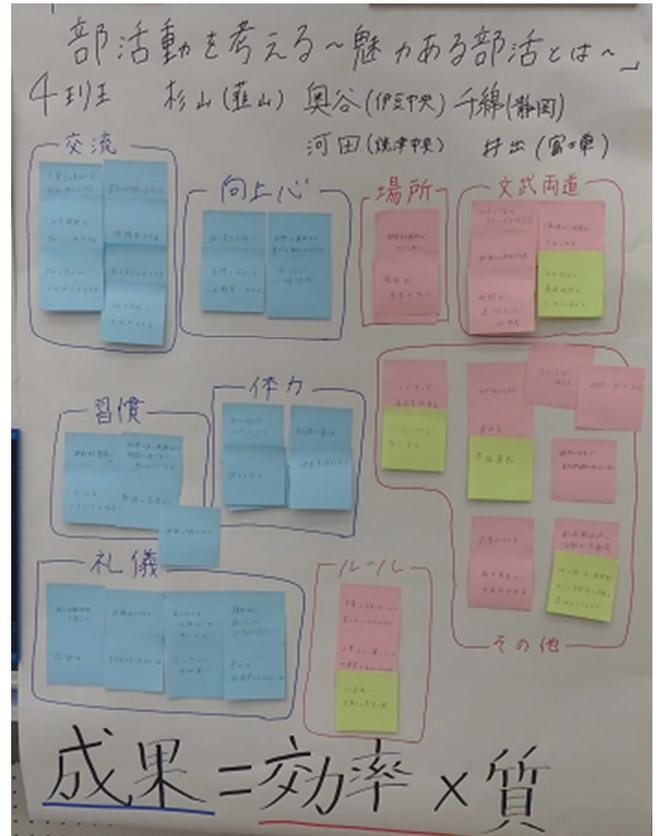
<3班> もっとやりたいと思える部活動！ 「主体性」「モチベーション」「量より質」

主体性を持って取り組み、課題に対しての解決策をみんなで探りました。



<4班> 成果=効率×質

部活動の問題点として、自分たちで出来る改善点を考えていきました。



○参加生徒の感想（一部抜粋）

- ・他校の生徒が部活動に対してどのような考え方を持って取り組んでいるのかわかり、良かったと思います。部活動がより良いものなるように頑張りたいです。
- ・今回、グループの中に3年生が多くいて、部活動を一生懸命やることによって学ぶことは多くあると言っていたのが印象的でした。日々、精進していきたいです。
- ・今までは他校の部活動と自分たちの部活動を比べる機会は無かったので、とても貴重な経験になりました。今回話し合った内容は、普段、改めて考えることがなかったので、帰ってからも部員と話したいと思いました。
- ・各学校、各部活動の思いを改めて知ることができました。大変なこともあるけど、社会に出てからも役に立つことがあるので、部活動も大切なものだと感じました。
- ・他の学校、部活動の人の話を聞き、どの高校も感じていることや考えていることは同じだと思いました。「効率性」と簡単に言っても、とても難しい問題であると思います。今回の話し合いをチームに戻り、還元していきたいです。
- ・色々な高校の人たちと1つのテーマに対して活発な話し合いをすることができて、とてもいい機会だなと思いました。改めて部活動について考えることができたし、今日発表した内容を自分の学校の後輩に伝えて、効率の良い部活動をしてもらいたいと思いました。

- ・他校の部活動の現状について知ることができました。私の部活動（高校）は他校よりも勉強の時間を確保できていることを知りました。限られた時間の中で効率よく勉強や部活動をやり抜くことは難しいことだと思いますが、自主性を持って取り組もうと思いました。
- ・他の学校の意見を聞くことで、自分だけでは思いつかなかった意見を取り入れられたり、自分が気にしてなかったことを気にして問題視していたりと、たくさんの考え方に出会えました。このミーティングで話し合ったことを学校に持ち帰って、自分の部活動につなげていけたらいいなと思いました。
- ・他の学校の人や違った部活動の人の意見を聞くことができ、とても参考になりました。「部活動」というテーマで話すことは、とても貴重で良い時間でした。

○最後に

昨年に引き続き2回目の開催となった今回は、「部活動を考える ～魅力ある部活動とは～」というテーマをもとに、参加生徒22名がそれぞれの部活動に対する思いなどを語り合い、魅力ある部活動を考えていきました。参加生徒の部活動は野球・陸上競技・サッカー・ハンドボール・バスケットボール・バレーボール・テニス・ソフトテニス・ホッケー・ゴルフ・ボートと様々で、学年は2年生が12名、3年生が10名でした。昨年よりも競技種目が増えました。3年生の参加も昨年の6名から10名に増え、部活動から多くを学んだ3年生の先輩の経験談に真剣な眼差しで耳を傾ける2年生の姿が印象的でした。

今回は1会場に一人の県教育委員会担当をファシリテーターとして配置しましたが、担当からは「非常に活発に意見交換していました。」「違う種目の生徒同士の話が面白かった。種目によって活動時間が違うので、そのギャップに驚いていました。」「生徒が部活動について話し合うことは、とても有意義だと思います。各学校でも顧問を交えてやったら面白いと感じました。」「自分の考えをしっかり持って発言している様子に頼もしく感じました。」「学業とのバランスは、今も昔も同様の悩みであり、ガイドラインが出る以前から、各部や個人で工夫がなされてきたことを改めて感じました。」などの感想が挙げられました。

この部活動ミーティングは来年以降も継続して実施していく予定です。今後も部活動を推進していくためにも、生徒から部活動の素晴らしさを発信していただきたいと思います。

最後に、今回、生徒を派遣していただいた学校と協力してくれた生徒に感謝申し上げます。ありがとうございます。